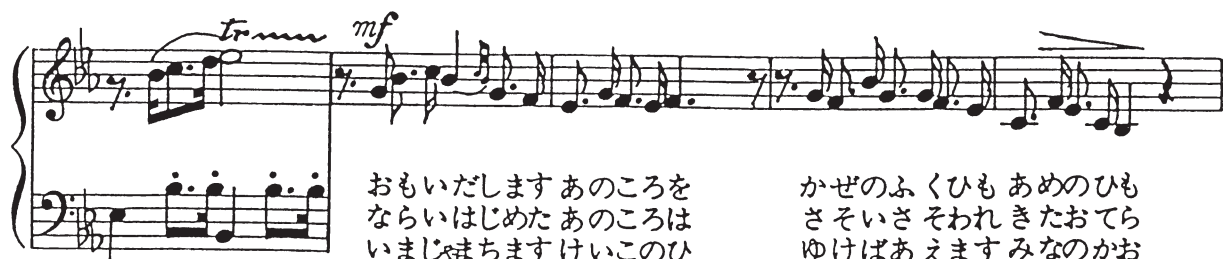


吉水講音頭

池 上 靈 心 作詞
松 濤 基 作曲

はずんで



おもいだしますあのころを
ならいはじめたあのころは
いまじまちますけいこのひ
なれてよかったおとなえを

かぜのふくひも あめのひも
さそいさそわれきたおてら
ゆけばあえますみなのかお
ごせんぞさまにてをあわせ



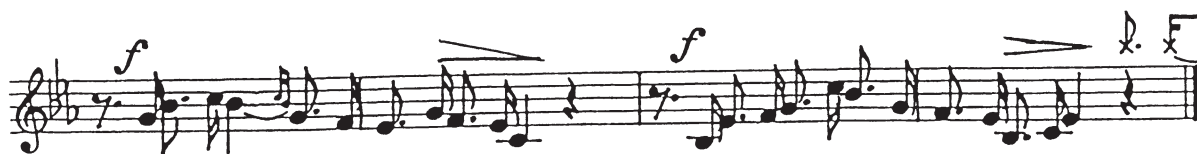
かよーい
なれーぬ
ならーい
できーぬ

ーましーたーよ おてらのーみどーう
ーかなーしーさ ちょうしはーはずーれ
ーおほーえーた おうたとーおまーい
ーくどーくーも つませてーもらーう

ならーって
いきーは
きいーて
あすーの



— わす—れ—て	— わすれ—てなら	う	} (サテー)のびるてさきもしなやかに
— きれ—る—し	— てあし—もいた	い	
— くだ—さ—い	— みて—くたさ	い	
— しご—と—に	— せい—もで—	る	



あしのはこびもささらと もうてうれし い え いさんか [ソレ



一) こえ がちいさ い は らからだして ちょうしそろえ ても ういちど

ポイント注意

明るくはずんで唱えます。

お囃しは、1、2 番はBにて、3 番 4 番はA Bを唱えます。

(歌詞は98ページ)

よし みず こう おん ど
吉 水 講 音 頭

池上 靈心 作詞

- 1 おも だ あのことろ
思い出します あの頃を
かぜ ふ ひ あめ ひ
風の吹く日も 雨の日も
かよ てら み どう
通いましたよ お寺の御堂
なら わす わす なら
習って忘れて 忘れて習う
ソレ (B) こえ ちい はら だ
声が小さい 腹から出して
ちようし そろ いち ど
調子揃えて もう一度

- 2 なら はじ あのことろ
習い始めた あの頃は
さそ さそ き てら
誘い誘われ 来たお寺
かな ちようし
なれぬ悲しさ 調子はずれ
いき て あし いた
息はきれるし 手足も痛い
ソレ (B)

- 3 いま ま けい こ ひ
今じゃ待ちます 稽古の日
ゆ あ みな かお
行けば会えます 皆の顔
なら おぼ うた まい
習い覚えた お歌とお舞
き くだ み くだ
聞いて下さい 見て下さい
サテ (A) て さき
のびる手先も しなやかに
あし はこ
足の運びも さらさらと
も うれ えいさん か
舞うて嬉しい 詠讃歌
ソレ (B)

- 4 なれてよかった とな お唱えを
ごせんぞ て あ
御先祖さまに 手を合わせ
できぬくどく つま
できぬ功德も 積せてもらう
あ す しごと で
明日の仕事に せいも出る

サテ (A) ソレ (B) (音譜は100ページ)